

2010-04-10

社長通信 No.62

新年度も無事故・無災害で

桜の花が満開の季節柄になりました。新しい芽が萌え出ずる時は、心も何かしら晴れやかで爽やかになるものです。

無事故への挑戦も「これでよい」という限界はありません。常に挑戦し続けなければならない永遠のテーマであり、竹原運輸がこの世に「存在する」「存在できる」理由がここにあります。昨年は社内で大変な事故が起きました。この事故を無事故達成の為の大きな教訓、原点にすべきことは勿論であります。いつまでも事故の暗い気持ちを引きずっていても次の新たなステップに行けません。

筍(まこと)に日に新たに、日々に新たに、また日々新たなり。(大学)

日々新鮮な気持ちで一流の仕事を目指しましょう。